

質問回答

平成 25 年 7 月 1 日

「ケニア国小規模園芸農民組織強化計画プロジェクトを事例とした市場志向型農業開発プロジェクト実施に係る情報収集・確認調査」
(公告日:平成 25 年 6 月 19 日 / 公告番号:4)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	1 ページ、「1 業務の背景」	SHEP アプローチを適用した協力を検討している周辺 10 ヶ国の国名を教えてくださいか。	現在、対象国はまだ決定されていません。来年度実施予定の地域・課題別研修への要望調査を今年 8～10 月にかけて行ない、そこで回答のあった参加希望国を対象に、さらに各国のポテンシャルを鑑みて検討していく予定です。
2	3 ページ、「(2)SHEP アプローチ調査の基本的な進め方」	SHEP アプローチが周辺国でどのように導入・展開できるかを検証したうえでアプローチの整理・体系化を行うことが重要と考えますが、周辺国での調査を別見積で提案させていただいてもよろしいでしょうか。	今回は、調査対象国をケニアとしていますが、コンサルタントの提案により、その分の経費を別見積りとして、近隣国を含めることを認めます。その場合、その必要性についてはプロポーザルにて十分説明願います。
3	4 ページ、「6 業務の内容」の「(4) 第 2 次現地調査」	JICA で別途作成予定の広報映像を作成する関係者のメンバー構成とケニアに派遣される時期が決まっていれば教えてくださいか。	まだ確定されていませんが、JICA 農村開発部、広報室、本案件の契約コンサルタントを構成メンバーとして作成を進める予定です。映像収集のための派遣は 10 月頃を予定しています。
4	5 ページ、「(7) 帰国後整理期間」	広報映像の編集は活動に含まれておりませんが、本件業務実施契約に映像資料の編集は含まれていないと理解してよろしいでしょうか。	今回の業務内容に編集作業自体は対象としていません。

5	-	<p>広報映像素材の収録については特に記載がありませんが、プロジェクトでは単に関係者へのアポイント等を取ればよいだけでしょうか。</p>	<p>広報素材の収録に関連して、コンサルタントに依頼する事項は主に、アポイントの取り付け及び取材対象者に対する振付、および収録担当者との打合せとなります。</p>
6	-	<p>広報用映像について、当社では収録、編集、完成品の作成まで可能な能力があります。映像素材の収録は SHEP の調査段階から行ったほうがより幅広く、有用なシーンが収集できると思います。またこれら素材はその後の広報用映像の対象、長さ、使用目的によっても違うものが求められる部分もあると思います。</p>	<p>プロポーザルにて提案願います。</p>
7	<p>5 ページ、「(7) 帰国後整理期間」の「イ SHEP アプローチの演習教材(学習教材)の作成」</p>	<p>対象者が「他のプロジェクト関係者」とされており、2 ページでは「他プロジェクト関係者(JICA 職員、専門家、カウンターパート等)」との記述がありますが、演習量はだいたいどれくらいを想定されていますか。例えば、2 時間程度とか、20 時間程度といった大まかな時間でご教示下さい。</p>	<p>当分量についても必要な日数を提案願います。</p>

以上